

第4期苫小牧市役所エコオフィスパラン運用実績（令和6年度実績）

第4期苫小牧市役所エコオフィスパランに基づき、市役所全施設の事務・事業活動に伴うCO₂排出量を公表します。また、参考値として、エネルギー使用量についても公表します。

令和6年度のCO₂排出量は52,300 t-CO₂となり、基準年度に比べ20.3%の減少となりました。

1 CO₂排出量について

表 排出区分別 CO₂排出量

		基準年度(25年度)	令和6年度		目標値(令和12年度)	
		t-CO ₂	t-CO ₂	増減 (基準年度比)	t-CO ₂	目標削減率
	市長部局	34,916	28,141	-19.4%	-	-
	教育部局	11,264	10,344	-8.2%	-	-
	自動車	594	488	-17.9%	386	-35%
エネルギー起源 CO ₂		46,774	38,973	-16.7%	22,628	-51%
非エネルギー起源 CO ₂		18,878	13,327	-29.4%	14,159	-25%
合計		65,652	52,300	-20.3%	37,173	-43%

※電力・熱のCO₂排出係数は、令和6年度は令和5年度供給実績（公開時点最新）の値を使用しています。

【内訳】電力は(株)北海道電力の公表値 0.000535t-CO₂/kWh、熱は「特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令」で定める代替係数 0.0532 t-CO₂/GJ を使用しています。

なお、CO₂排出係数とは電力 1kW 又は熱 1GJ を消費したときのCO₂排出量を表します。

<エネルギー起源 CO₂>

エネルギー起源 CO₂ の排出量は基準年度と比べて 16.6%減少しました。

理由として、(株)北海道電力の CO₂ 排出係数の改善や、照明設備の LED 化が進んだことが挙げられます。

<非エネルギー起源 CO₂>

非エネルギー起源 CO₂ の排出量は、市が収集した一般廃棄物に含まれるプラスチック類及び合成繊維類の焼却により発生したもので、基準年度と比べて 29.4%減少しました。

理由として、平成 25 年 7 月から開始した家庭ごみの有料化により分別の意識が高まり、プラスチック類の焼却量が大幅に減少したことが挙げられます。

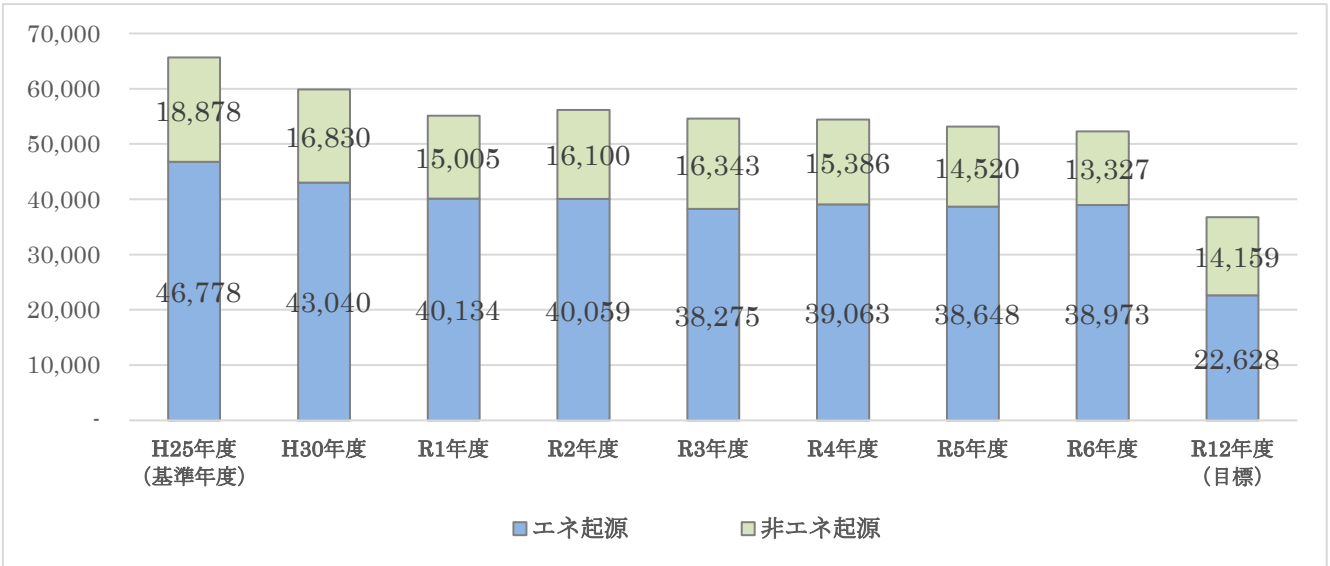


図1 CO₂排出量の推移